

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和1年5月9日(2019.5.9)

【公表番号】特表2018-509452(P2018-509452A)

【公表日】平成30年4月5日(2018.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2018-013

【出願番号】特願2017-550153(P2017-550153)

【国際特許分類】

C 0 7 H 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 33/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/7042 (2006.01)

【F I】

C 0 7 H 17/00 C S P

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 33/00

A 6 1 P 29/00

A 6 1 K 31/7042

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月25日(2019.3.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

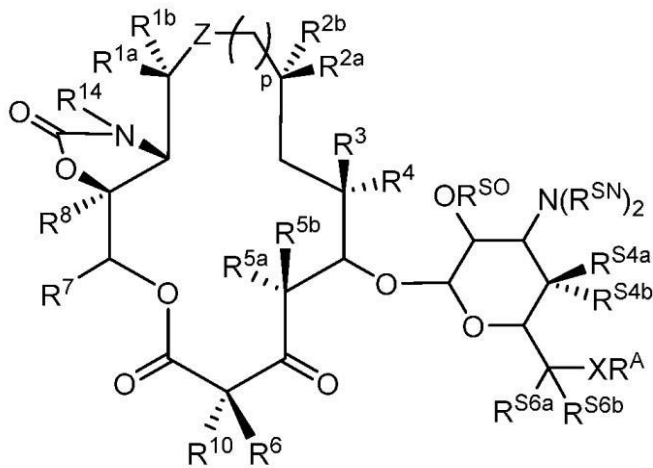
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)：

【化1】



(I),

で表される化合物またはその薬学的に許容し得る塩であって、式中：

Zは、 $-C(=O)-$ または $-NR^{Z2}-$ であり；

Xは、 $-NR^B-$ または $-O-$ であるが、ただしZが $-C(=O)-$ であるとき、Xは

- N R<sup>B</sup> - であり；

R<sup>Z 2</sup> は、水素、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、任意置換ヘテロアリール、アシル、または窒素保護基であり；

p は、0、1、または2であるが、ただし Z が - C ( = O ) - であるとき、P は0であり；

R<sup>A</sup> は、水素、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、任意置換ヘテロアリール、- C ( = O ) - L<sup>S 2</sup> - R<sup>S</sup>、- C ( = N R<sup>S N 2</sup> ) - L<sup>S 2</sup> - R<sup>S</sup>、- S ( = O ) - L<sup>S 2</sup> - R<sup>S</sup>、- S ( = O )<sub>2</sub> - L<sup>S 2</sup> - R<sup>S</sup>、窒素保護基（窒素原子へ付着されているとき）、または酸素保護基（酸素原子へ付着されているとき）であり、および R<sup>S N 2</sup> は独立して、水素、任意置換 C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub> アルキル、または窒素保護基であるか；

R<sup>B</sup> は、水素、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、任意置換ヘテロアリール、または窒素保護基であるか；

または、R<sup>A</sup> および R<sup>B</sup> は一緒になって、= N<sub>2</sub> または任意置換のヘテロシクリルもしくはヘテロアリールの環を形成し；

L<sup>S 2</sup> は、単結合、- N R<sup>S</sup> -、- O -、もしくは - S -、または任意置換アルキレン、任意置換アルケニレン、任意置換アルキニレン、任意置換ヘテロアルキレン、任意置換ヘテロアルケニレン、および任意置換ヘテロアルキニレン、およびこれらの組み合わせからなる群から選択される連結基であり；

各 R<sup>S</sup> は独立して、水素、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、任意置換ヘテロアリール、酸素保護基（酸素原子へ付着されているとき）、窒素保護基（窒素原子へ付着されているとき）、または硫黄保護基（硫黄原子へ付着されているとき）であるか、または同じ窒素原子へ付着されている2個の R<sup>S</sup> 基は結び付いて、任意置換のヘテロシクリルまたはヘテロアリールの環を形成し；

R<sup>S 4 a</sup> および R<sup>S 4 b</sup> の各々は独立して、水素、ハロゲン、任意置換 C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub> アルキル、または - O R<sup>S 0</sup> であり；

R<sup>S 6 a</sup> および R<sup>S 6 b</sup> の各々は独立して、水素、ハロゲン、または任意置換 C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub> アルキルであり；

各 R<sup>S N</sup> は独立して、水素、任意置換 C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub> アルキル、または窒素保護基であるか、または同じ窒素原子へ付着されている2個の R<sup>S N</sup> 基は結び付いて、任意置換のヘテロシクリルまたはヘテロアリールの環を形成し；

各 R<sup>S 0</sup> は独立して、水素、任意置換 C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub> アルキル、炭水化物、または酸素保護基であり；

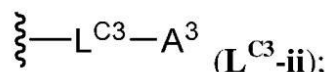
R<sup>1 a</sup> および R<sup>1 b</sup> の各々は独立して、水素、ハロゲン、アシル、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、または任意置換ヘテロアリールであり；

R<sup>2 a</sup> および R<sup>2 b</sup> の各々は独立して、水素、ハロゲン、任意置換アルキル、または任意置換アルケニルであり；

R<sup>3</sup> および R<sup>4</sup> の各々は独立して、水素、ハロゲン、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、任意置換ヘテロアリール、または - O R<sup>3 a</sup> であり；

各 R<sup>3 a</sup> は独立して、水素、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、酸素保護基であるか、または式：

【化2】



で表され；

各  $L^{C3}$  は独立して、単結合であるか、または任意置換アルキレン、任意置換アルケニレン、任意置換アルキニレン、任意置換ヘテロアルキレン、任意置換ヘテロアルケニレン、および任意置換ヘテロアルキニレン、およびこれらの組み合わせからなる群から選択される連結基であり；

各  $A^3$  は独立して、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、または任意置換ヘテロアリールであり；

$R^{5a}$  および  $R^{5b}$  の各々は独立して、水素、ハロゲン、任意置換アルキル、任意置換カルボシクリル、または任意置換ヘテロシクリルであり；

$R^6$  は、水素、ハロゲン、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、任意置換アラキル、任意置換ヘテロアリール、または任意置換ヘテロアラキルであり；

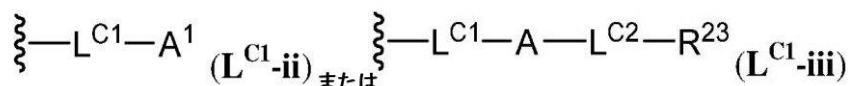
$R^{10}$  は、水素、ハロゲン、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、任意置換アラキル、任意置換ヘテロアリール、または任意置換ヘテロアラキルであり；

$R^7$  は、水素、ハロゲン、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、または任意置換ヘテロアリールであり；

$R^8$  は、水素、ハロゲン、または任意置換  $C_1 \sim C_6$  アルキルであり；

$R^{14}$  は、水素、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、任意置換ヘテロアリール、窒素保護基であるか、または式：

【化3】

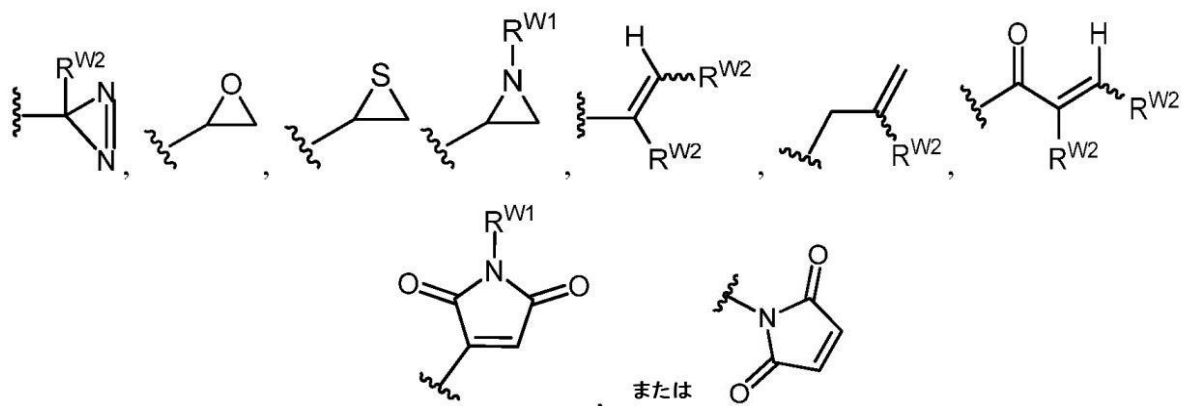


で表され；

$L^{C1}$  は、単結合であるか、または任意置換アルキレン、任意置換アルケニレン、任意置換アルキニレン、任意置換ヘテロアルキレン、任意置換ヘテロアルケニレン、および任意置換ヘテロアルキニレン、およびこれらの組み合わせからなる群から選択される連結基であり；

$A^1$  は、脱離基 (LG)、 $-SH$ 、 $-OH$ 、 $-NH_2$ 、 $-NH-NH_2$ 、 $-N_2$ 、 $-N_3$ 、 $-O-NH_2$ 、 $-CCH$ 、 $-OC(=O)R^{Z8}$ 、 $-C(=O)OR^{Z8}$  であるか、または式：

【化4】



で表され；

$A$  は、 $-NH-$ 、 $-NH-NH-$ 、 $-NH-O-$ 、 $-O-NH-$ 、 $-S-$ 、 $-SS-$ 、 $-O-$  であるか、または式：

[illegible]

Qは、 $-NH-$ 、 $-NH-NH-$ 、 $-O-NH-$ 、 $-NH-O-$ 、 $-S-$ 、または $-O-$ であり；

R<sup>W1</sup> は、水素、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、任意置換ヘテロアリール、または窒素保護基であり；

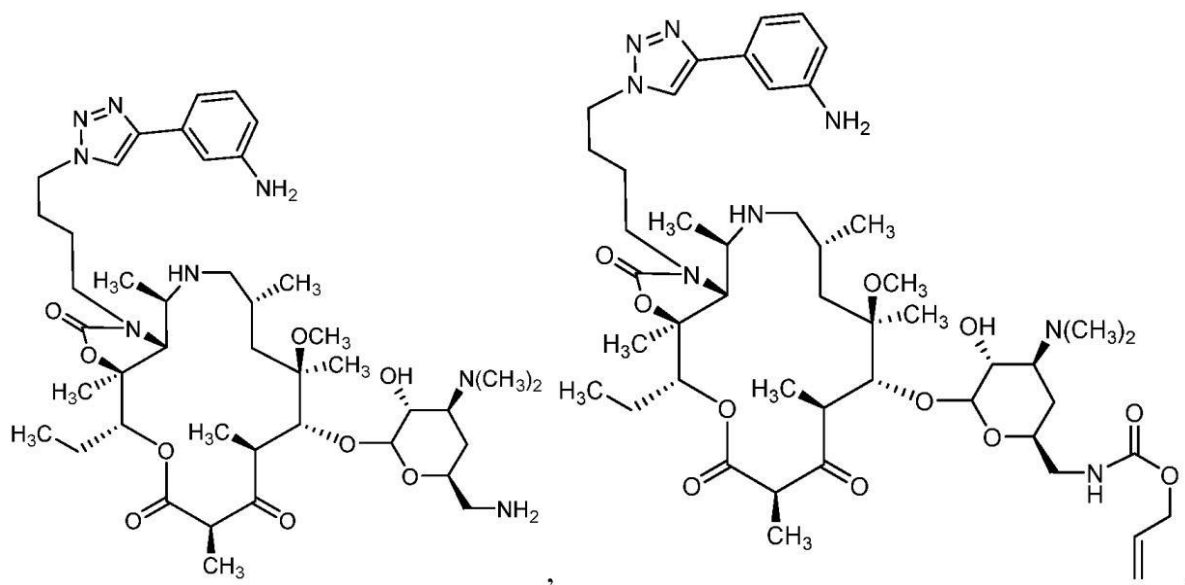
R<sup>2</sup>、<sup>3</sup>は、水素、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、または任意置換ヘテロアリールであり；および

各 R<sup>2-8</sup> は独立して、水素、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、または任

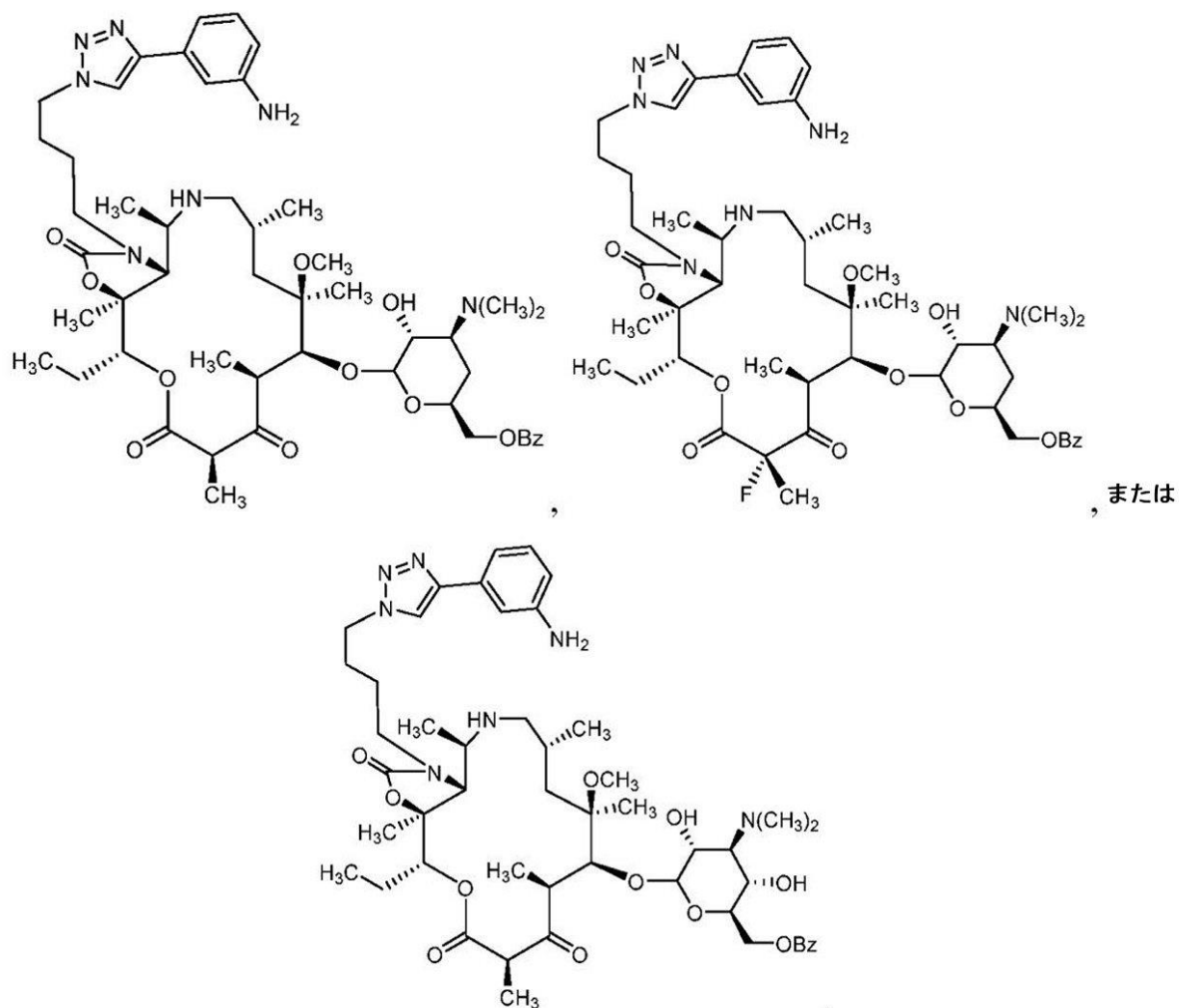
意置換ヘテロアリールであるか、または同じ窒素原子へ付着されている 2 個の  $R^{28}$  基は結び付いて、任意置換ヘテロシクリルまたは任意置換ヘテロアリールの環を形成し；

ただし化合物は、以下：

【化 6】



【化 7】

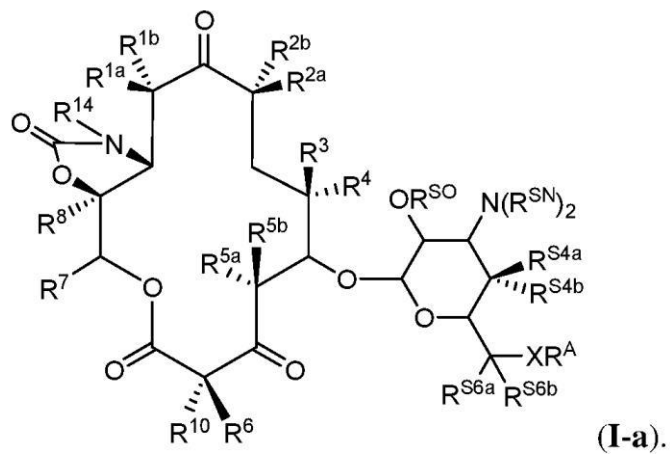


ではない、前記化合物。

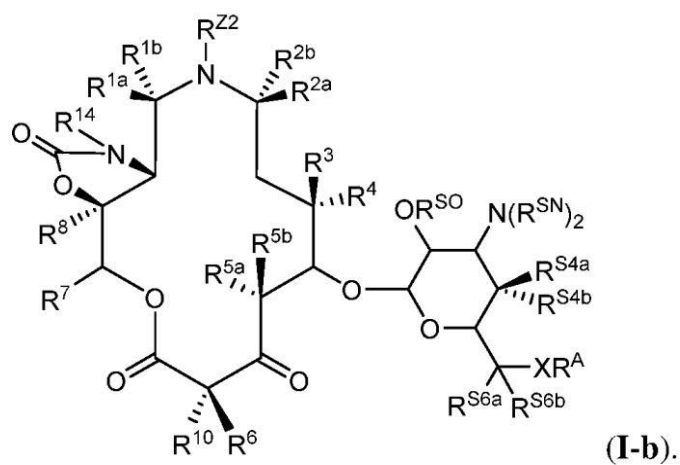
【請求項 2】

化合物が、式：

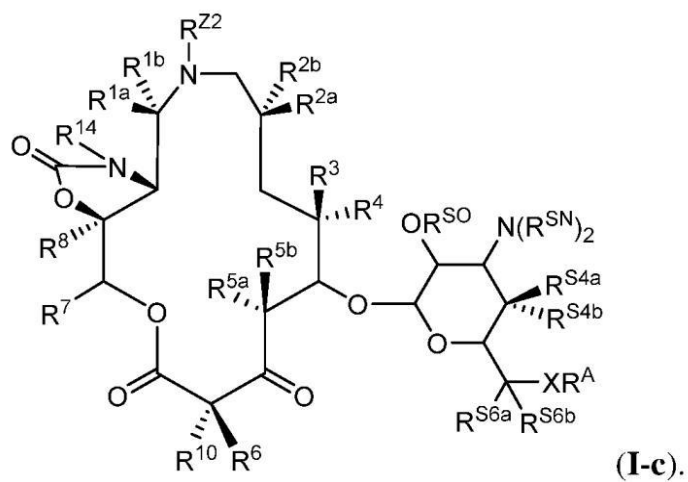
【化 8】



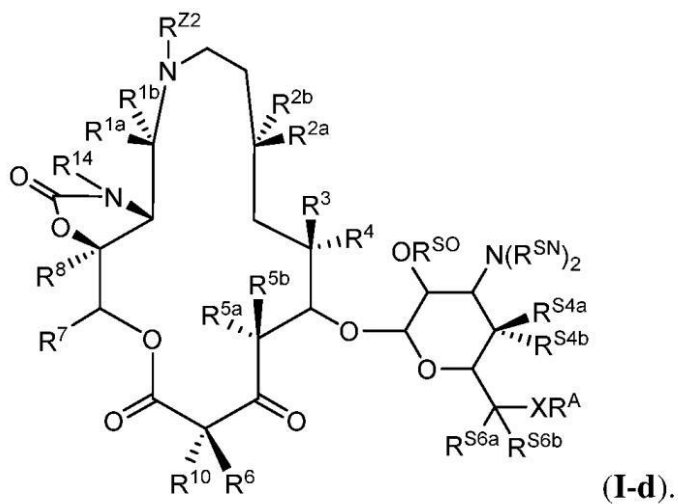
【化 9】



【化 10】

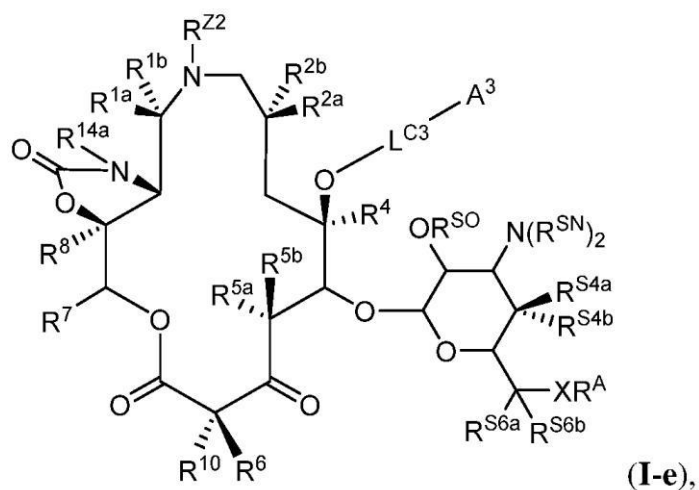


## 【化 1 1】



または

## 【化 1 2】

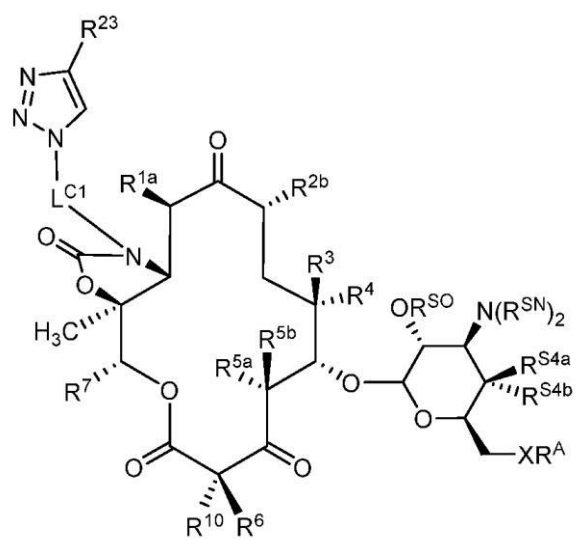


式中  $R^{14a}$  は、水素、任意置換アルキル、または窒素保護基である、  
で表される、請求項 1 に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

## 【請求項 3】

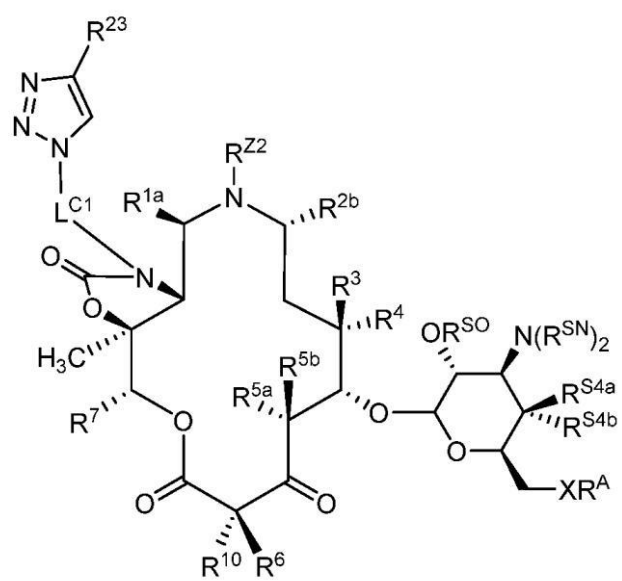
化合物が、式：

## 【化 1 3】



(II-a).

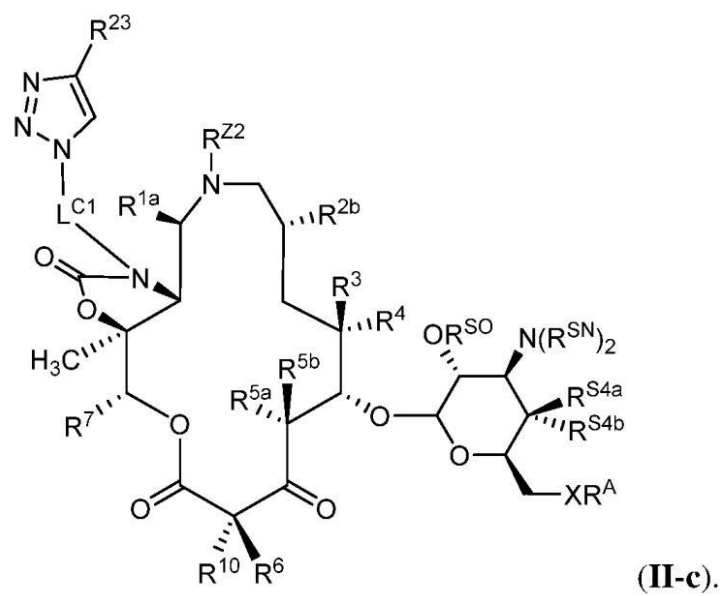
## 【化 1 4】



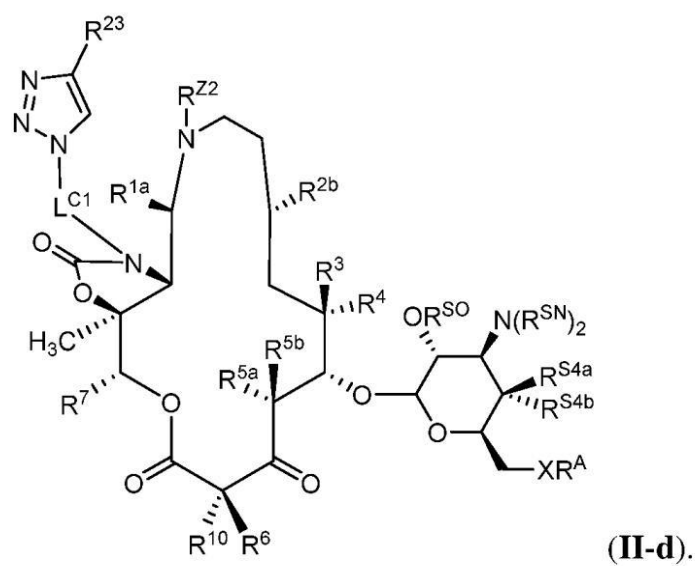
(II-b).



## 【化 1 5】

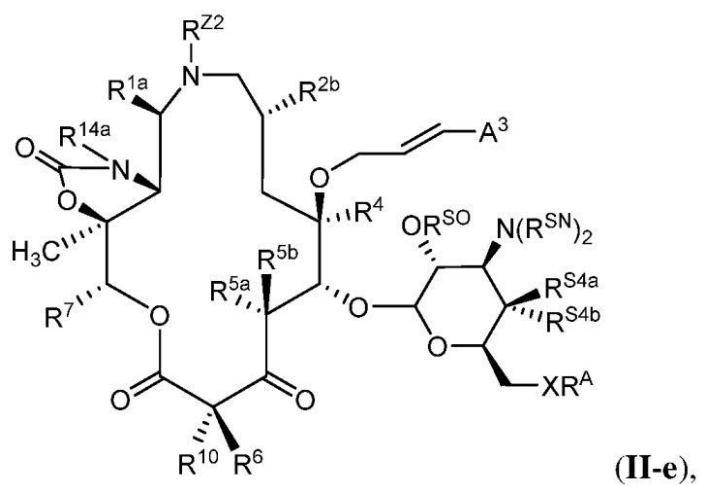


## 【化 1 6】



または

## 【化 1 7】

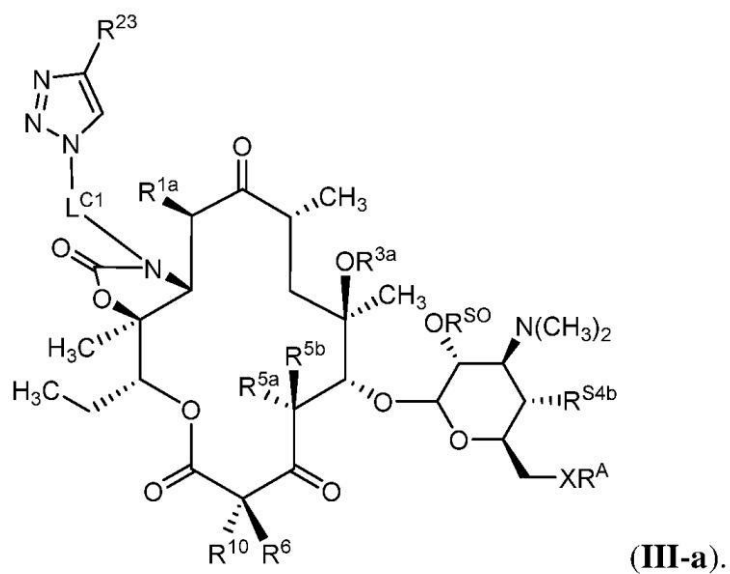


式中  $R^{14a}$  は、水素、任意置換アルキル、または窒素保護基である、  
で表される、請求項 1 に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

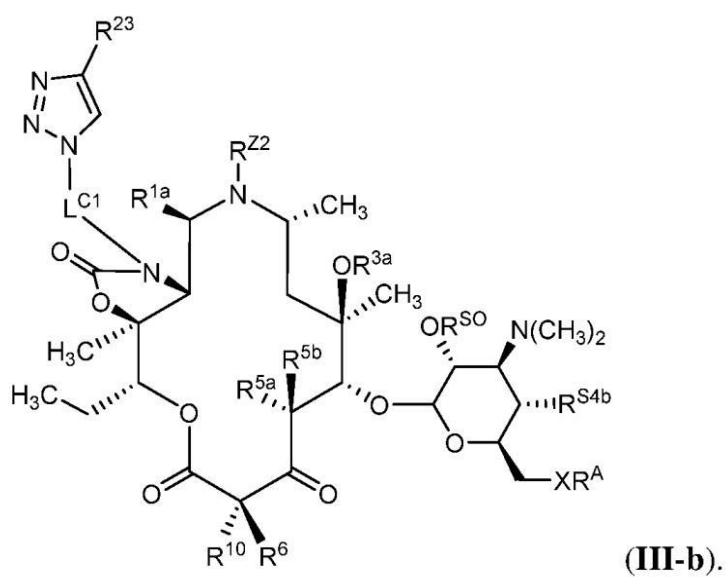
【請求項 4】

化合物が、式：

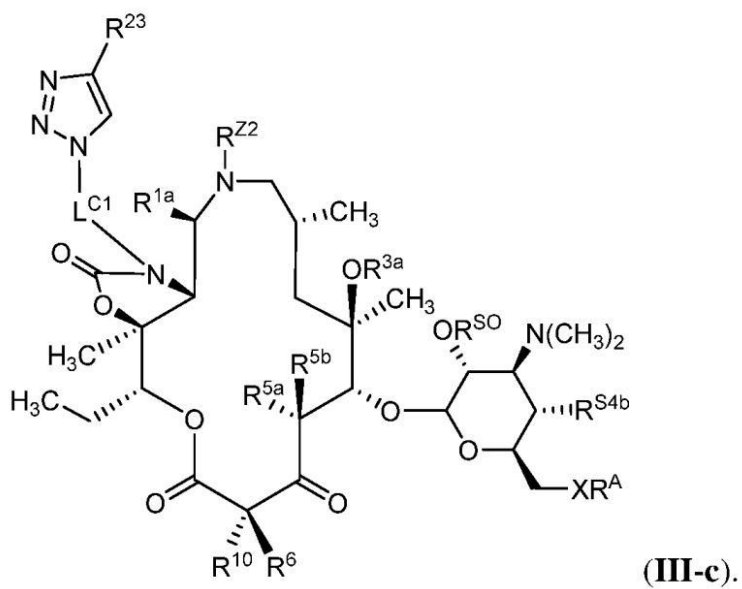
【化 18】



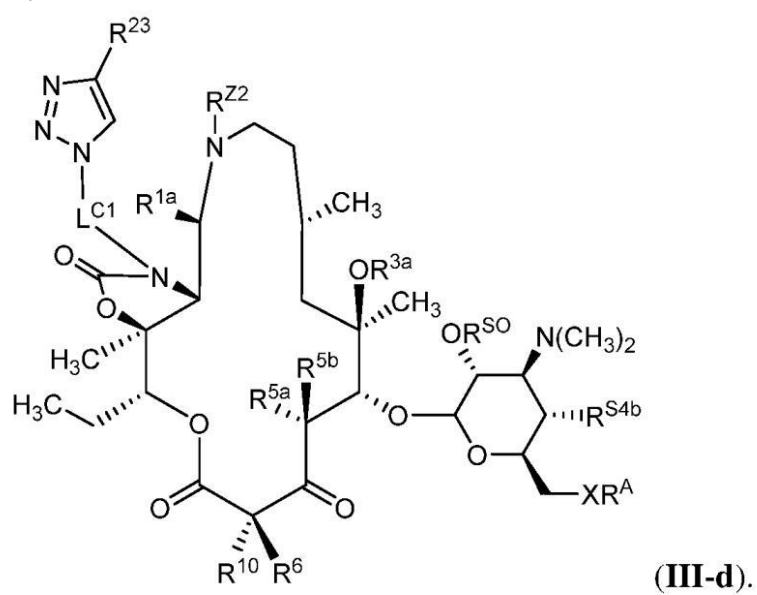
【化 19】



【化 2 0】

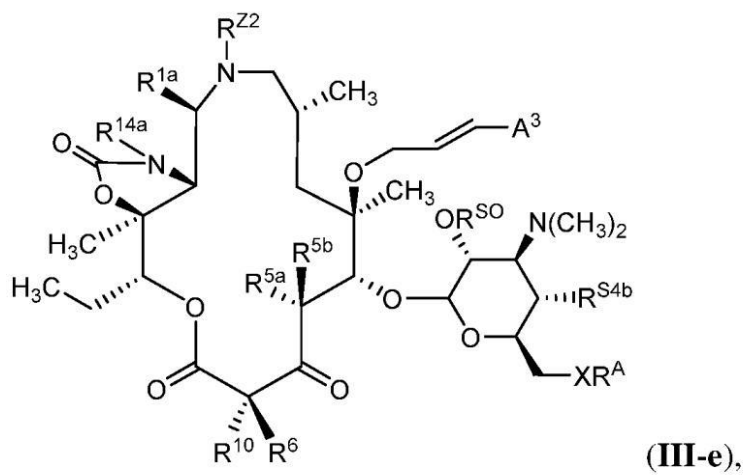


【化 2 1】



または

【化 2 2】

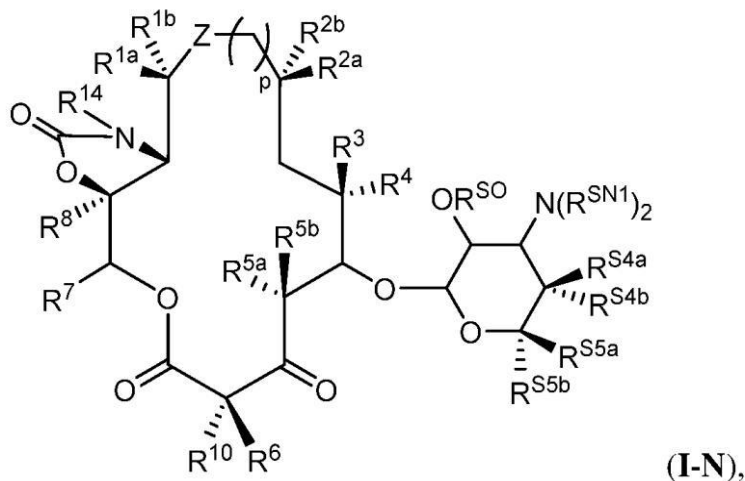


式中  $R^{14a}$  は、水素、任意置換アルキル、または窒素保護基である、  
で表される、請求項 1 に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

【請求項 5】

式 (I - N) :

【化 23】



で表される化合物またはその薬学的に許容し得る塩であって、式中：

Z は、 $-C(=O)-$  または  $-NR^{Z2}-$  であり；

X は、 $-NR^B-$  または  $-O-$  であるが、ただし Z が  $-C(=O)-$  であるとき、X は  $-NR^B-$  であり；

$R^{Z2}$  は、水素、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、任意置換ヘテロアリール、アシル、または窒素保護基であり；

p は、0、1、または 2 であるが、ただし Z が  $-C(=O)-$  であるとき、P は 0 であり；

$R^A$  は、水素、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、任意置換ヘテロアリール、 $-C(=O)-L^{S2}-R^S$ 、 $-C(=NR^{SN2})-L^{S2}-R^S$ 、 $-S(=O)-L^{S2}-R^S$ 、 $-S(=O)_2-L^{S2}-R^S$ 、窒素保護基（窒素原子へ付着されているとき）、または酸素保護基（酸素原子へ付着されているとき）であり、および  $R^{SN2}$  は独立して、水素、任意置換  $C_1 \sim C_6$  アルキル、または窒素保護基であるか；

$R^B$  は、水素、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、任意置換ヘテロアリール、または窒素保護基であるか；

または、 $R^A$  および  $R^B$  は一緒になって、 $=N_2$  または任意置換のヘテロシクリルまたはヘテロアリのルの環を形成し；

$L^{S2}$  は、単結合、 $-NR^S-$ 、 $-O-$ 、もしくは  $-S-$  であるか、または任意置換アルキレン、任意置換アルケニレン、任意置換アルキニレン、任意置換ヘテロアルキレン、任意置換ヘテロアルケニレン、および任意置換ヘテロアルキニレン、およびこれらの組み合わせからなる群から選択される連結基であり；

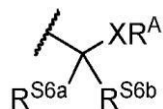
各  $R^S$  は独立して、水素、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、任意置換ヘテロアリール、酸素保護基（酸素原子へ付着されているとき）、窒素保護基（窒素原子へ付着されているとき）、または硫黄保護基（硫黄原子へ付着されているとき）であるか、または同じ窒素原子へ付着されている 2 個の  $R^S$  基が結び付いて、任意置換のヘテロシクリルまたはヘテロアリのルの環を形成し；

$R^{S4a}$  および  $R^{S4b}$  の各々は独立して、水素、ハロゲン、任意置換  $C_1 \sim C_6$  アル

キル、または  $-OR^{S04}$  であり；

$R^{S5a}$  および  $R^{S5b}$  の各々の例は独立して、水素、ハロゲン、任意置換  $C_1 \sim C_6$  アルキル、 $-OR^{S05}$  であるか、または式：

【化 2 4】



で表され；

$R^{S6a}$  および  $R^{S6b}$  の各々は独立して、水素、ハロゲン、または任意置換  $C_1 \sim C_6$  アルキルであり；

各  $R^{SN1}$  は独立して、水素、任意置換  $C_1 \sim C_6$  アルキル、任意置換カルボシクリル、任意置換アリール、任意置換ヘテロシクリル、任意置換ヘテロアリール、任意置換アシル、または窒素保護基であるか、または任意に 2 個の  $R^{SN1}$  基は結び付いて、任意置換のヘテロシクリルまたはヘテロアリのルの環を形成し；

$R^{S0}$ 、 $R^{S04}$ 、および  $R^{S05}$  の各々は独立して、水素、任意置換  $C_1 \sim C_6$  アルキル、炭水化物、または酸素保護基であり；

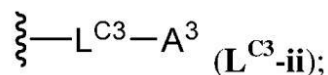
$R^{1a}$  および  $R^{1b}$  の各々は独立して、水素、ハロゲン、アシル、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、または任意置換ヘテロアリールであり；

$R^{2a}$  および  $R^{2b}$  の各々は独立して、水素、ハロゲン、任意置換アルキル、または任意置換アルケニルであり；

$R^3$  および  $R^4$  の各々は独立して、水素、ハロゲン、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、任意置換ヘテロアリール、または  $-OR^{3a}$  であり；

各  $R^{3a}$  は独立して、水素、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、酸素保護基であるか、または式：

【化 2 5】



で表され；

各  $L^{C3}$  は独立して、単結合であるか、または任意置換アルキレン、任意置換アルケニレン、任意置換アルキニレン、任意置換ヘテロアルキレン、任意置換ヘテロアルケニレン、および任意置換ヘテロアルキニレン、およびこれらの組み合わせからなる群から選択される連結基であり；

各  $A^3$  は独立して、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、または任意置換ヘテロアリールであり；

$R^{5a}$  および  $R^{5b}$  の各々は独立して、水素、ハロゲン、任意置換アルキル、任意置換カルボシクリル、または任意置換ヘテロシクリルであり；

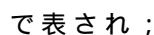
$R^6$  は、水素、ハロゲン、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、任意置換アラキル、任意置換ヘテロアリール、または任意置換ヘテロアラキルであり；

$R^{10}$  は、水素、ハロゲン、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、任意置換アラキル、任意置換ヘテロアリール、または任意置換ヘテロアラキルであり；

$R^7$  は、水素、ハロゲン、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、または任意置換ヘテロアリールであり；

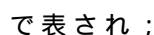
$R^8$  は、水素、ハロゲン、または任意置換  $C_1 \sim C_6$  アルキルであり；

【化 2 6】

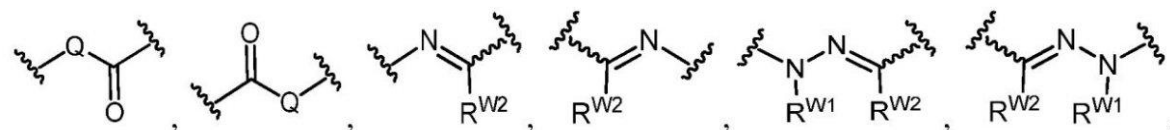


A<sup>1</sup> は、脱離基 (LG)、-SH、-OH、-NH<sub>2</sub>、-NH-NH<sub>2</sub>、-N<sub>2</sub>、-N<sub>3</sub>、-O-NH<sub>2</sub>、-CCH、-OC(=O)R<sup>Z 8</sup>、-C(=O)OR<sup>Z 8</sup> であるか、または式：

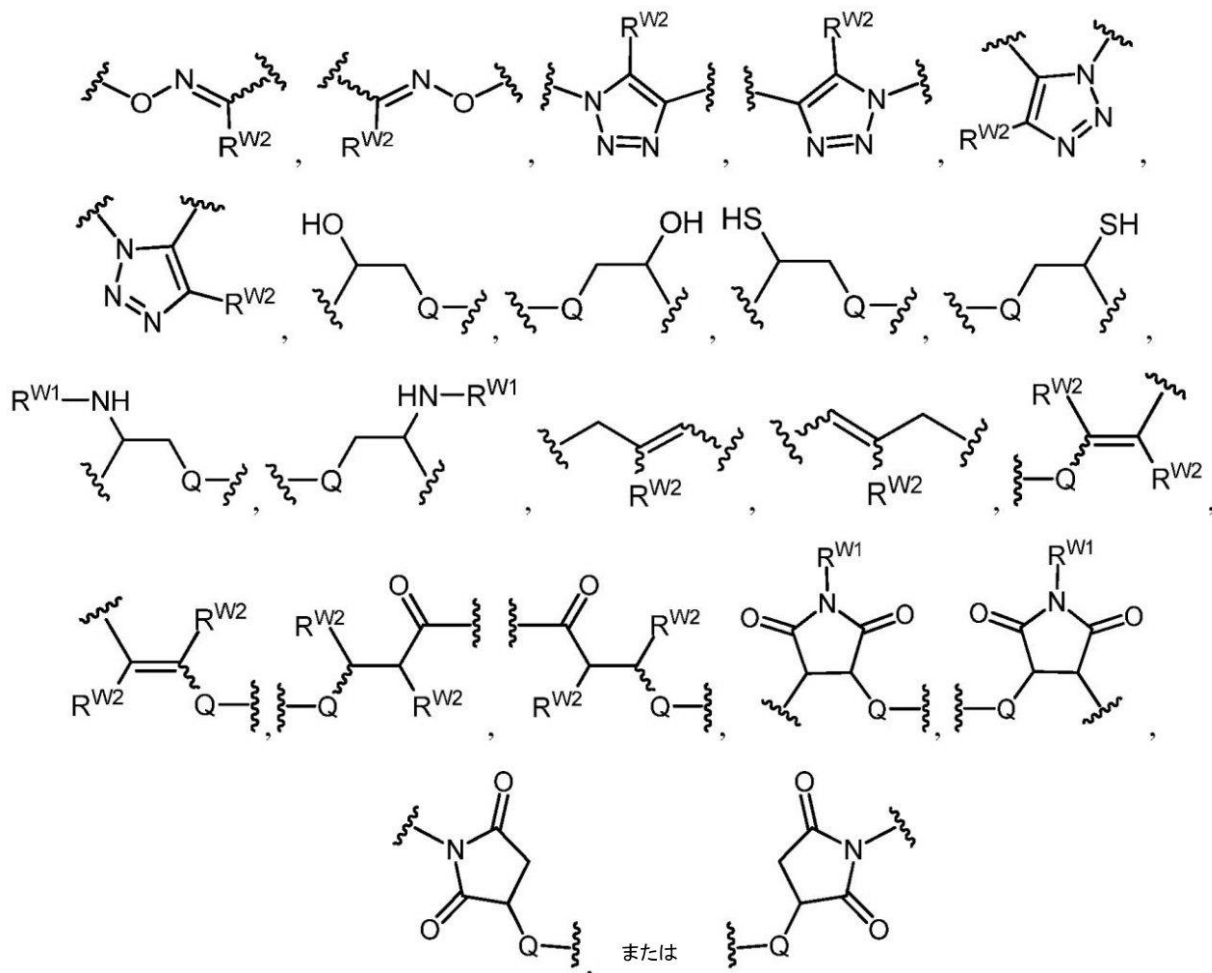
【化 2 7】



【化 2 8】



## 【化 2 9】



で表され；

Qは、-NH-、-NH-NH-、-O-NH-、-NH-O-、-S-、または-O-であり；

$L^{C2}$ は、単結合、または任意置換アルキレン、任意置換アルケニレン、任意置換アルキニレン、任意置換ヘテロアルキレン、任意置換ヘテロアルケニレン、および任意置換ヘテロアルキニレン、およびこれらの組み合わせからなる群から選択される連結基であり；

$R^{W1}$ は、水素、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、任意置換ヘテロアリール、または窒素保護基であり；

各 $R^{W2}$ は独立して、水素、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、任意置換ヘテロアリールであるか、または2個の $R^{W2}$ 基は結び付いて、任意置換の環部分を形成し；

$R^{23}$ は、水素、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、または任意置換ヘテロアリールであり；および

各 $R^{Z8}$ は独立して、水素、任意置換アルキル、任意置換アルケニル、任意置換アルキニル、任意置換カルボシクリル、任意置換ヘテロシクリル、任意置換アリール、または任意置換ヘテロアリールであるか、または同じ窒素原子へ付着されている2個の $R^{Z8}$ 基は結び付いて、任意置換ヘテロシクリル環または任意置換ヘテロアリール環を形成し；

ただし $R^{SN1}$ の少なくとも1個は、メチルではない、前記化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

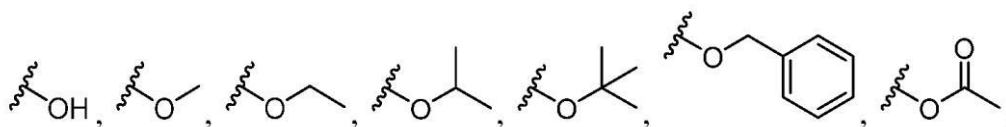
## 【請求項 6】

X が、 $-O-$  である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

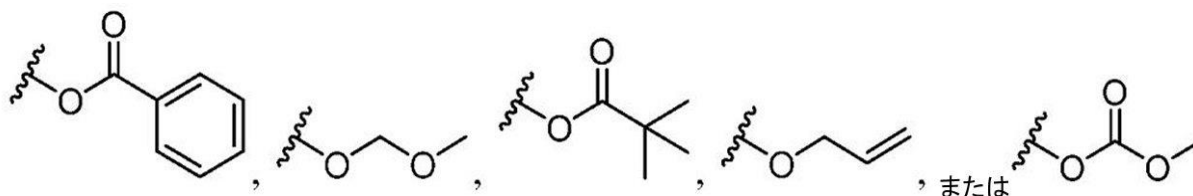
【請求項 7】

置換基  $-X R^A$  が：

【化 3 0】



【化 3 1】



である、請求項 6 に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

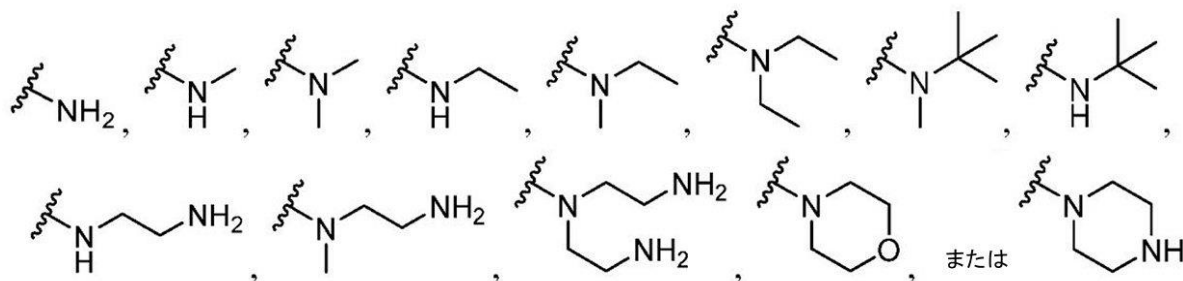
【請求項 8】

X が、 $-N R^B$  である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

【請求項 9】

置換基  $-X R^A$  が：

【化 3 2】



である、請求項 8 に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

【請求項 10】

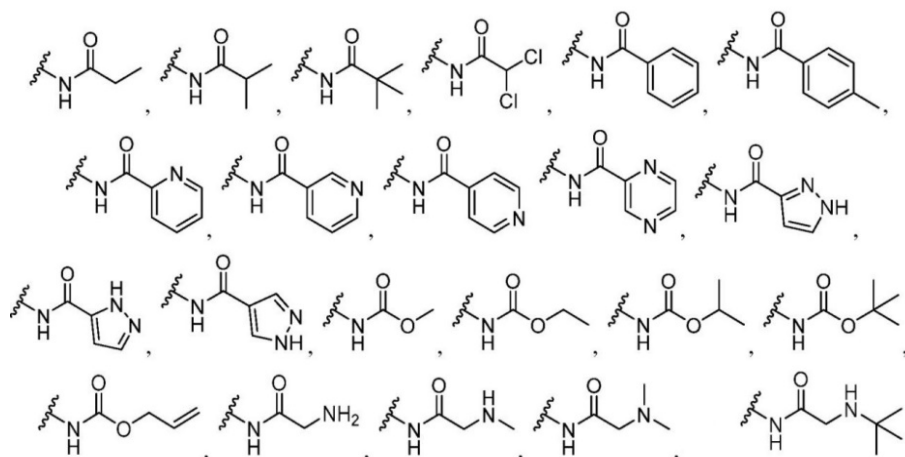
置換基  $-X R^A$  が、 $-NHC(=O)R^S$ 、 $-NHC(=O)OR^S$ 、 $-NHC(=O)N(R^S)_2$ 、 $-NHC(=NR^{S N 2})R^S$ 、 $-NHC(=NR^{S N 2})OR^S$ 、 $-NHC(=NR^{S N 2})N(R^S)_2$ 、または  $-NHS(=O)_2R^S$  である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

【請求項 11】

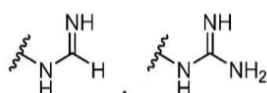
置換基  $-X R^A$  が：



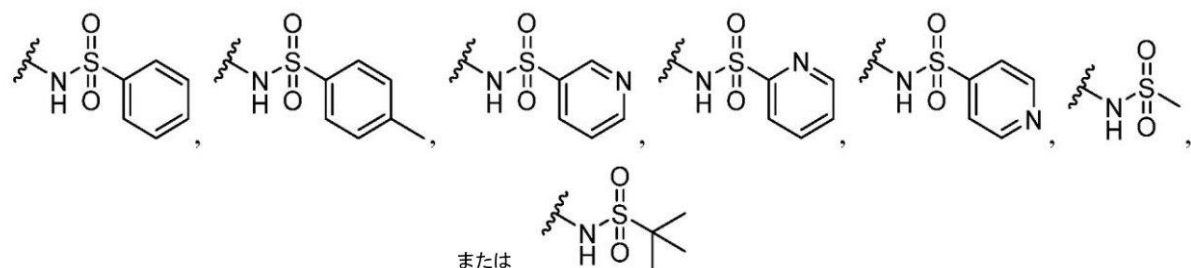
## 【化 3 3】



## 【化 3 4】



## 【化 3 5】



である、請求項 10 に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

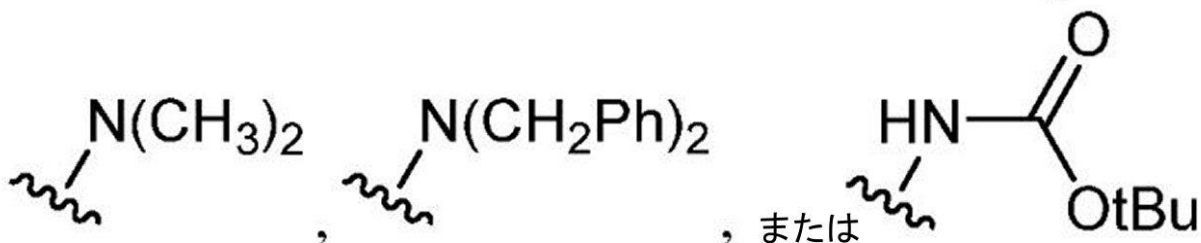
## 【請求項 12】

$R^{S6a}$  および  $R^{S6b}$  の各々が独立して、水素またはメチルである、請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

## 【請求項 13】

置換基 -  $N(R^{SN})_2$  が：

## 【化 3 6】



であり、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

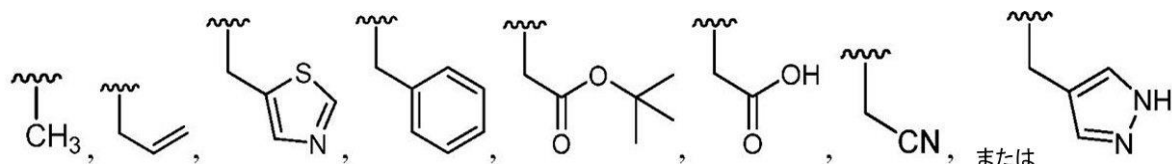
## 【請求項 14】

$R^{S4a}$  が、水素であり、および  $R^{S4b}$  が、-OR<sup>S0</sup>である、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

## 【請求項 15】

$R^6$  が、以下：

## 【化 3 7】



である、請求項 1 ~ 1 4 のいずれか一項に記載の化合物 またはその薬学的に許容し得る塩。

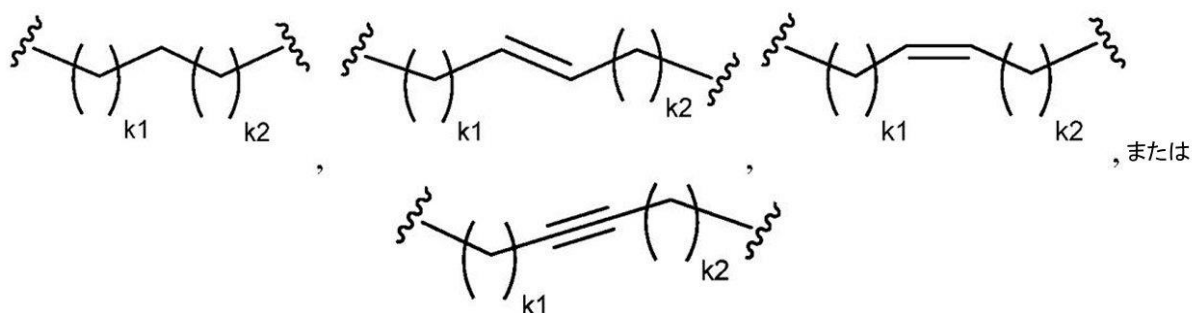
## 【請求項 1 6】

$R^{10}$  が、水素 または - F である、請求項 1 ~ 1 5 に記載の化合物 またはその薬学的に許容し得る塩。

## 【請求項 1 7】

$L^{C1}$  が、以下：

## 【化 3 8】



式中、 $k_1$  および  $k_2$  の各々は独立して、0、1、2、3、または 4 である、である、請求項 1 ~ 1 6 のいずれか一項に記載の化合物 またはその薬学的に許容し得る塩。

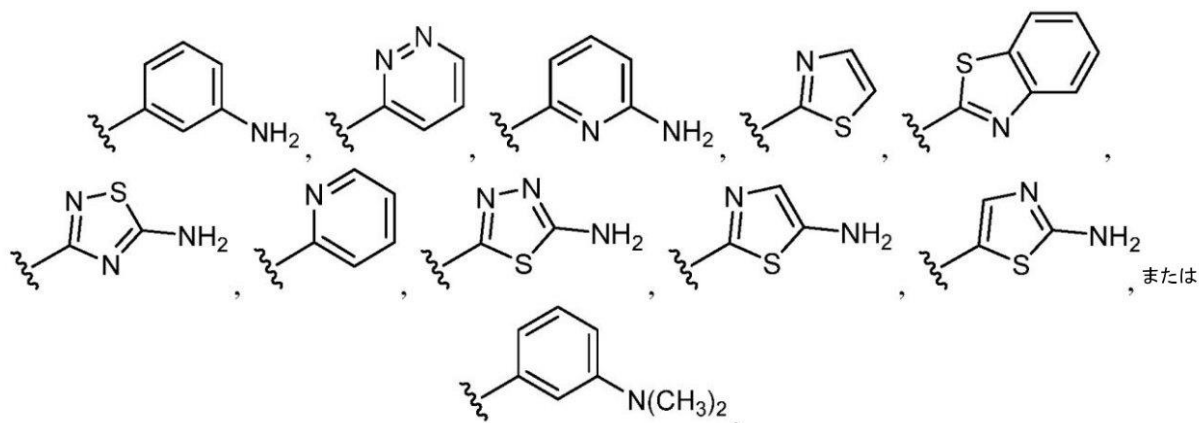
## 【請求項 1 8】

$R^{23}$  が、任意置換アリールまたは任意置換ヘテロアリールである、請求項 1 ~ 1 7 のいずれか一項に記載の化合物 またはその薬学的に許容し得る塩。

## 【請求項 1 9】

$R^{23}$  が、以下：

## 【化 3 9】

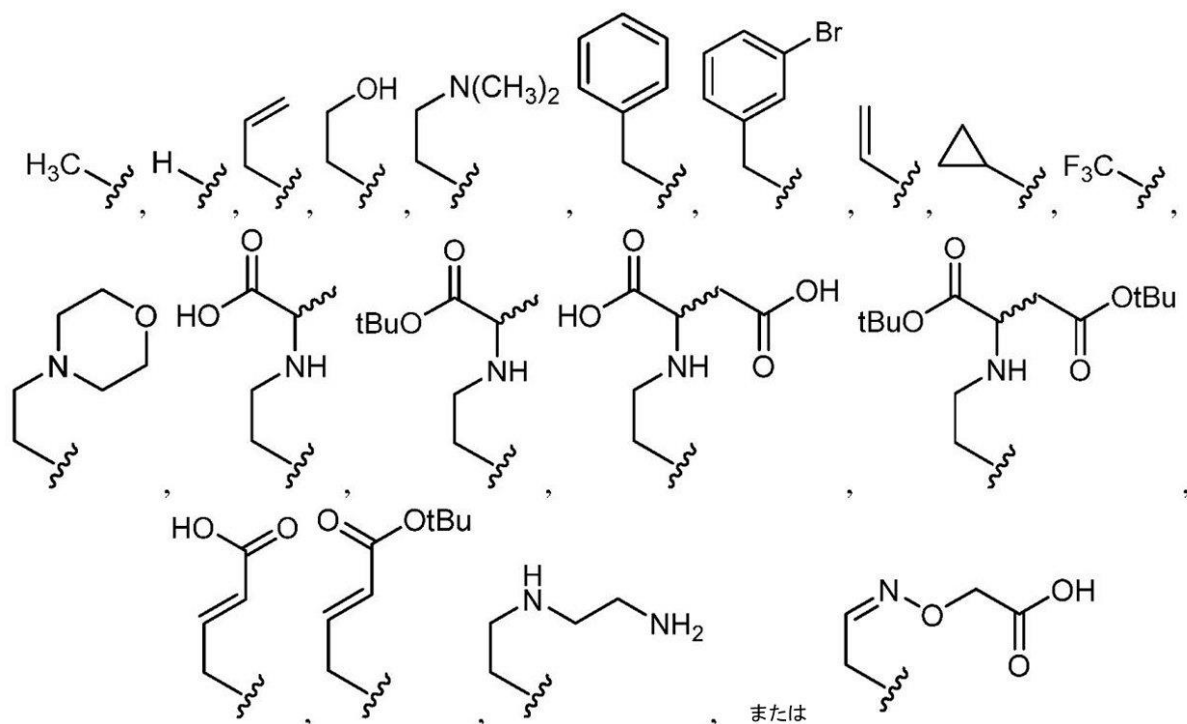


である、請求項 1 8 に記載の化合物 またはその薬学的に許容し得る塩。

## 【請求項 2 0】

$R^{1a}$  が、以下：

## 【化 4 0】



である、請求項 1 ~ 19 のいずれか一項に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

## 【請求項 21】

$R^{SN1}$  が両方とも、メチルではない、請求項 5 ~ 20 のいずれか一項に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

## 【請求項 22】

$R^{SN1}$  の少なくとも 1 個が、置換  $C_1 \sim C_6$  アルキルまたは任意置換ヘテロシクリルである、請求項 5 ~ 20 のいずれか一項に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

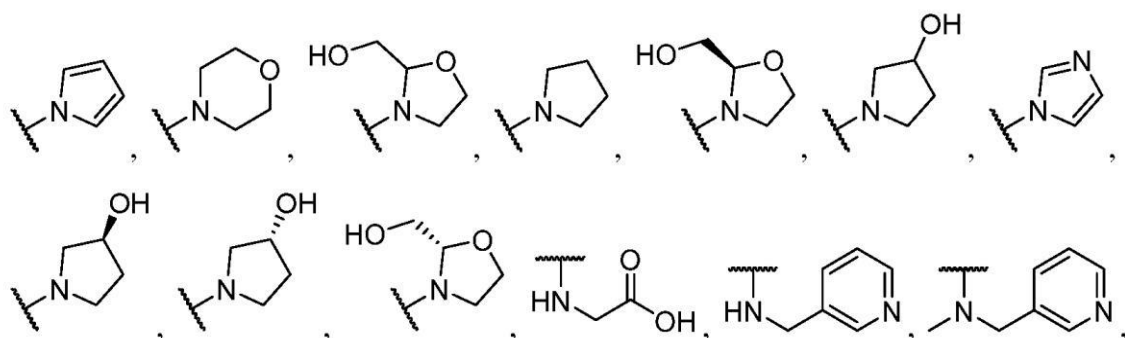
## 【請求項 23】

両方の  $R^{SN1}$  が一緒になって、任意置換ヘテロアリールまたは任意置換ヘテロシクリルを形成する、請求項 5 ~ 20 のいずれか一項に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

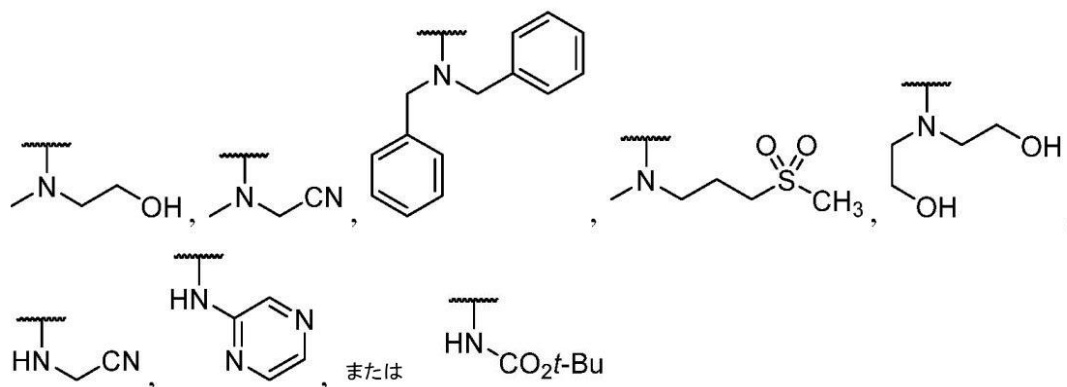
## 【請求項 24】

-  $N(R^{SN1})_2$  によって表される部分が、以下の式：

## 【化 4 1】



## 【化 4 2】



の 1 つで表される、請求項 5 ~ 20 のいずれか一項に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

## 【請求項 2 5】

$\text{R}^{5a}$  が、任意置換  $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$  アルキルである、請求項 5 ~ 24 のいずれか一項に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

## 【請求項 2 6】

$\text{R}^{5a}$  が、メチルである、請求項 5 ~ 24 のいずれか一項に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

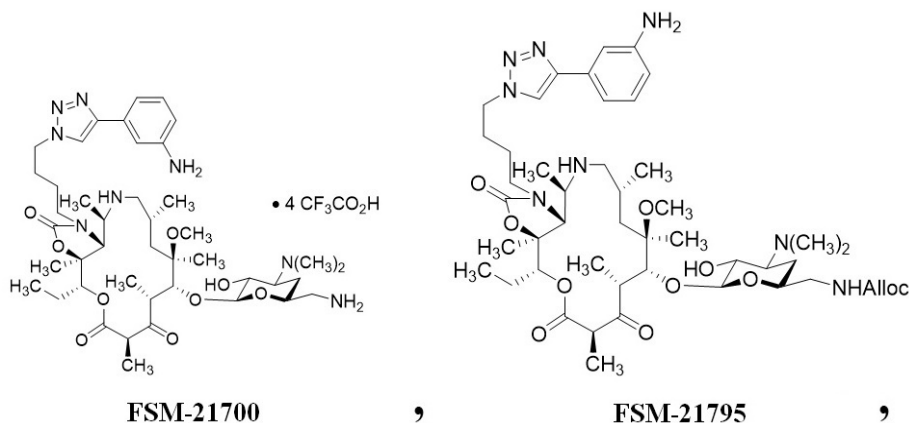
## 【請求項 2 7】

$\text{R}^{5b}$  が、水素である、請求項 5 ~ 26 のいずれか一項に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

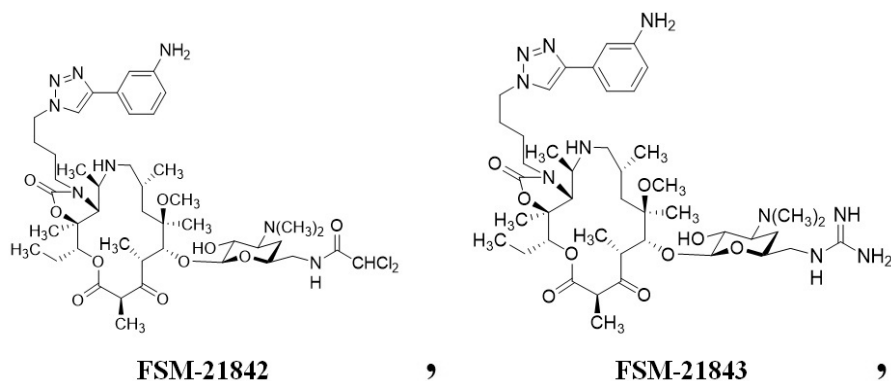
## 【請求項 2 8】

化合物が、式：

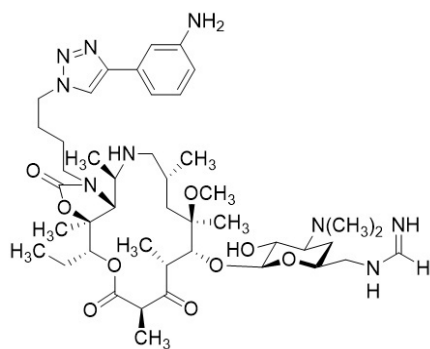
## 【化 4 3】



## 【化 4 4】

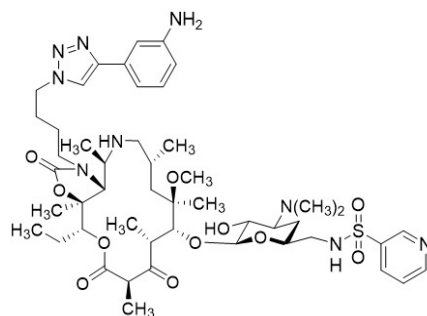


## 【化 4 5】



FSM-21861

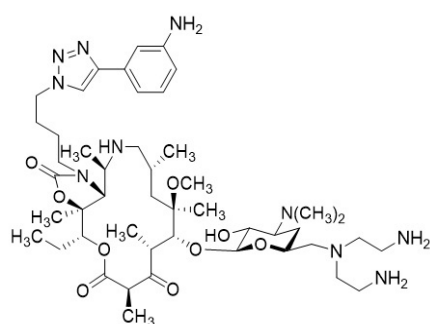
,



FSM-21876

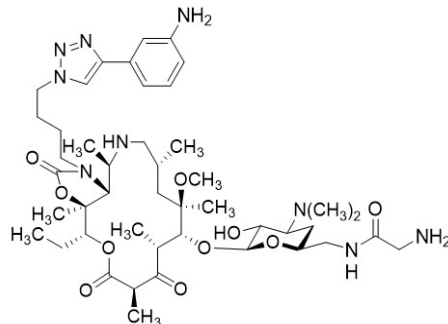
,

## 【化 4 6】



FSM-21877

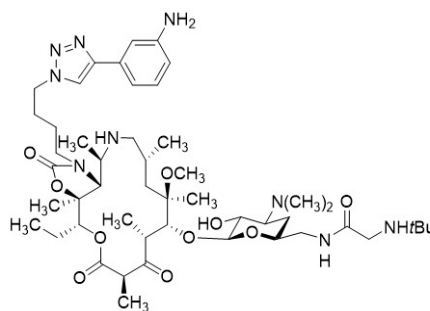
,



FSM-21878

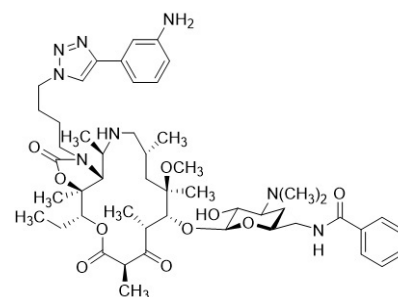
,

## 【化 4 7】



FSM-21879

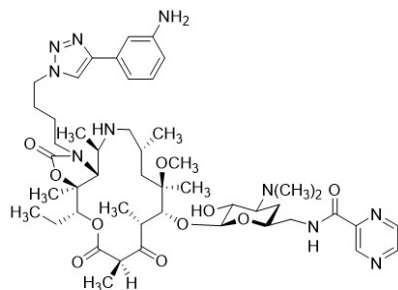
,



FSM-21880

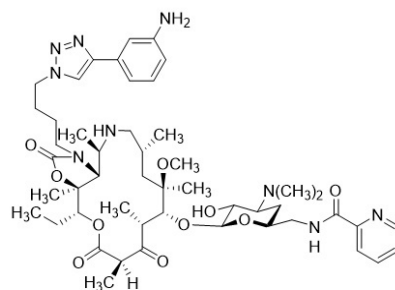
,

## 【化 4 8】



FSM-21881

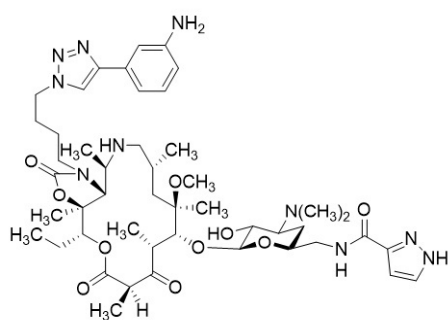
,



FSM-21887

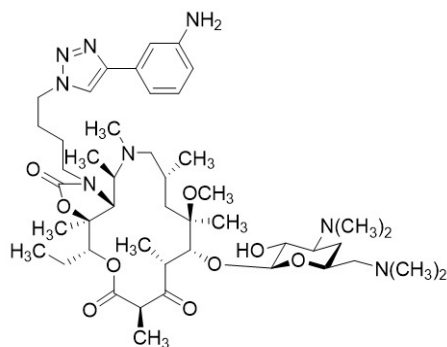
,

## 【化 4 9】



FSM-21888

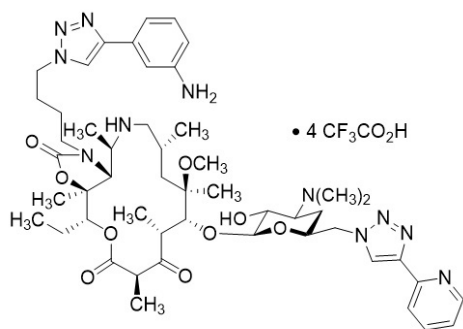
,



FSM-22003

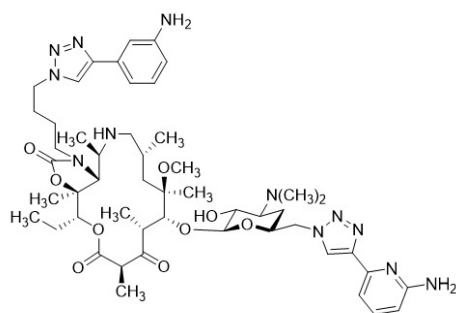
,

## 【化 5 0】



FSM-22366

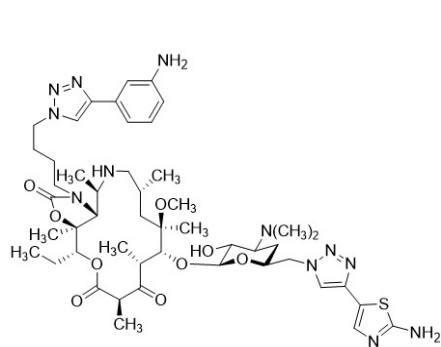
,



FSM-22372

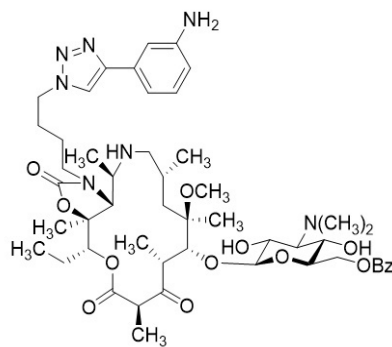
,

## 【化 5 1】



FSM-22373

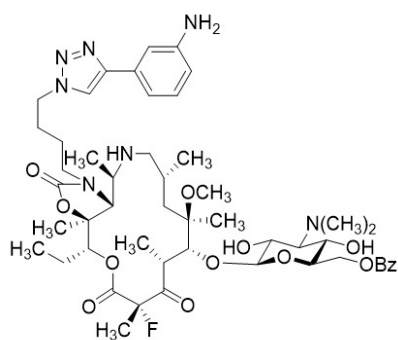
,



FSM-21797

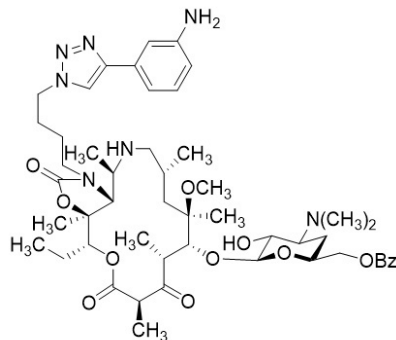
,

## 【化 5 2】



FSM-21798

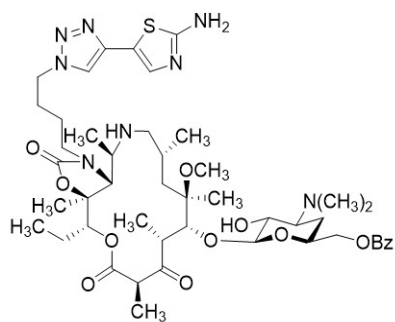
,



FSM-22111

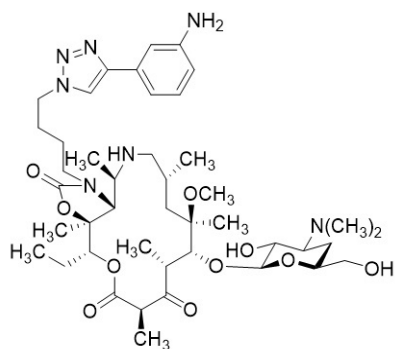
,

## 【化 5 3】



FSM-22124

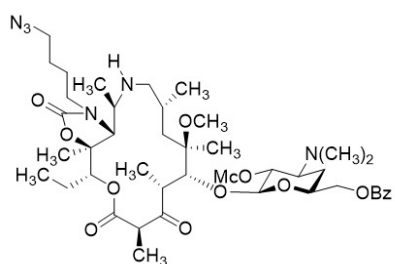
,



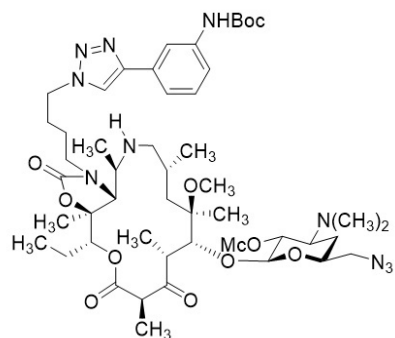
FSM-22125

,

## 【化 5 4】



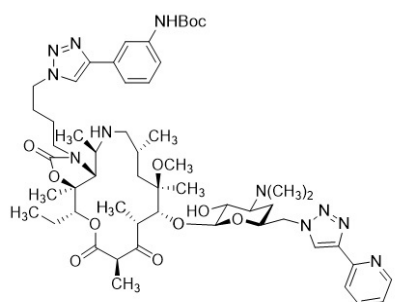
,



19

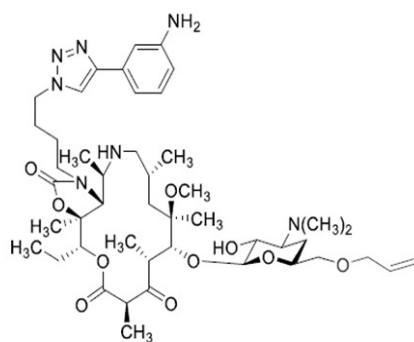
,

## 【化 5 5】



20

,

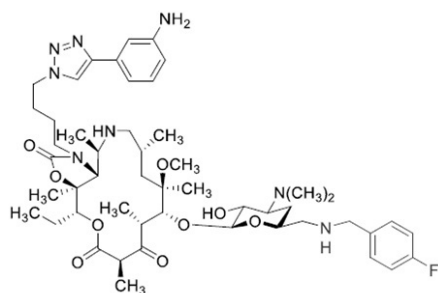


FSM-120383

,

または

## 【化 5 6】



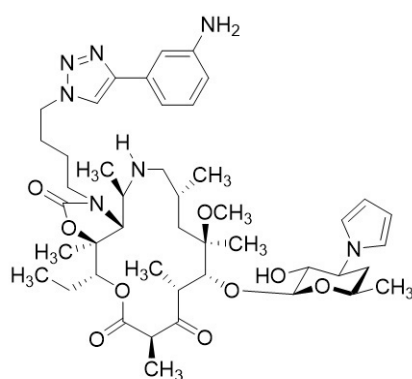
FSM-120391

で表される、請求項 1 に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

## 【請求項 2 9】

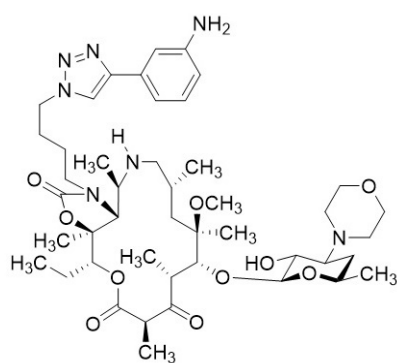
化合物が、式：

【化 5 7】



FSM-120362

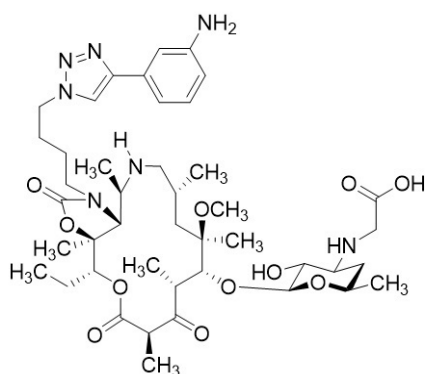
,



FSM-120367

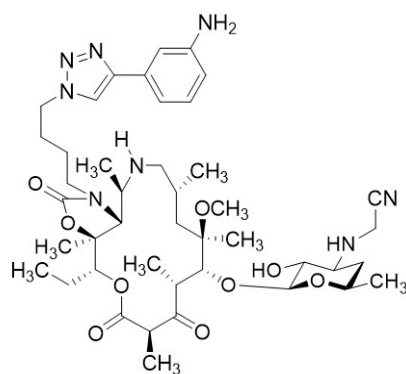
,

【化 5 8】



FSM-120368

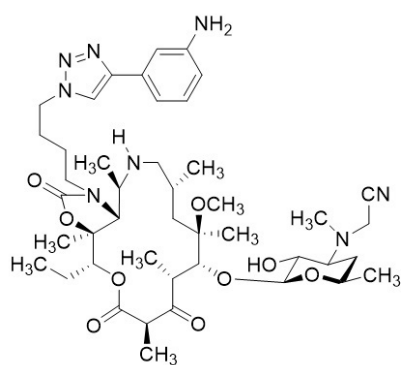
,



FSM-120369

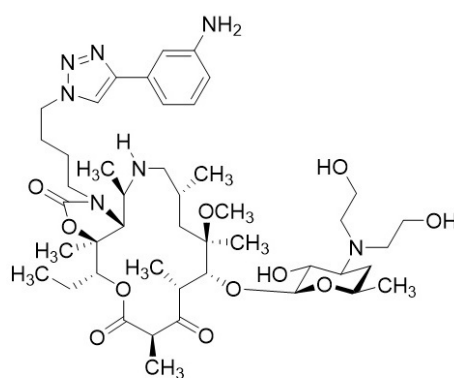
,

【化 5 9】



FSM-120371

,

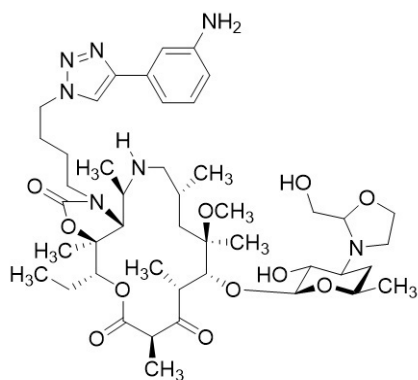


FSM-120379

,

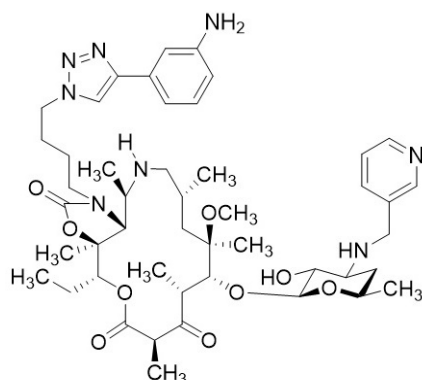


## 【化 6 0】



FSM-120380

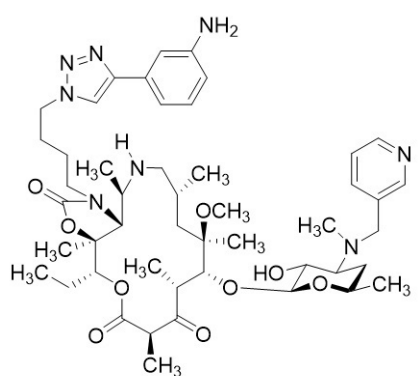
,



FSM-120384

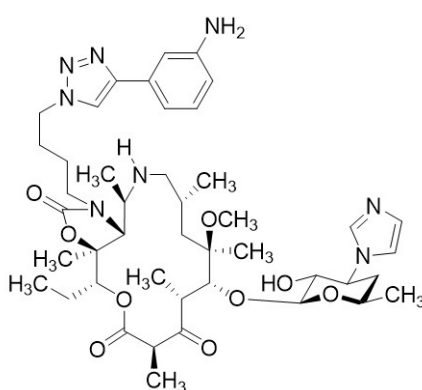
,

## 【化 6 1】



FSM-120385

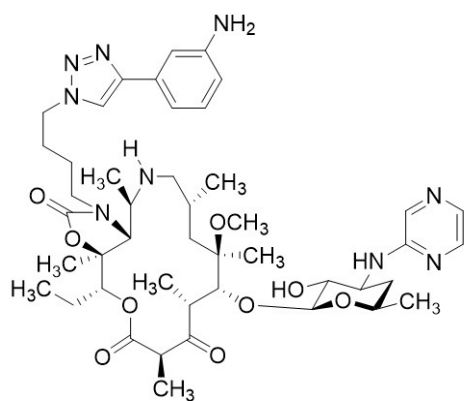
,



FSM-120394

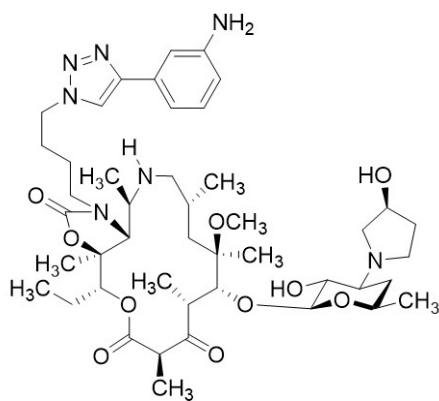
,

## 【化 6 2】



FSM-120410

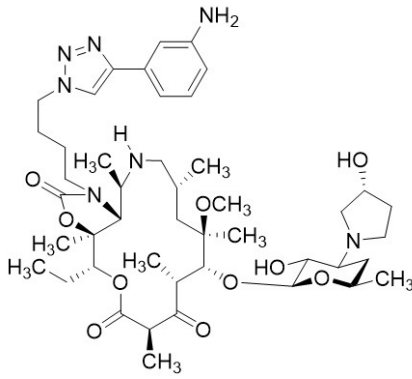
,



FSM-120416

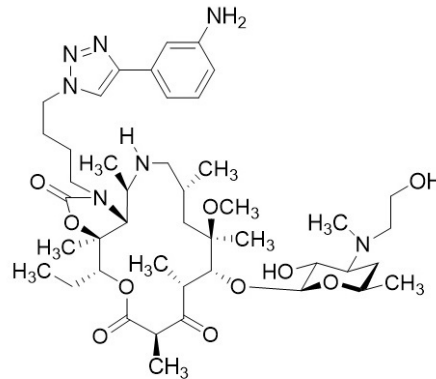
,

## 【化 6 3】



FSM-120417

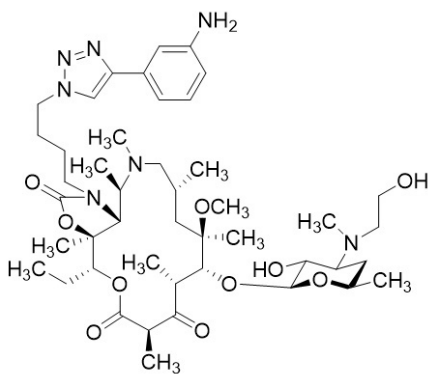
,



FSM-120418

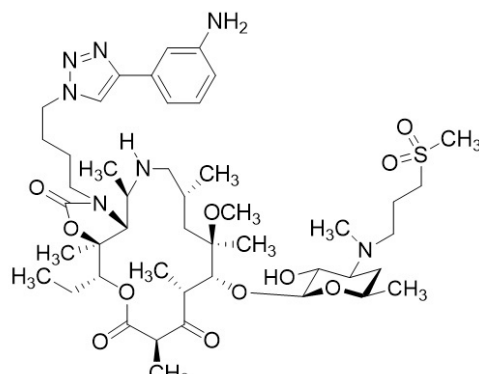
,

## 【化 6 4】



FSM-120419

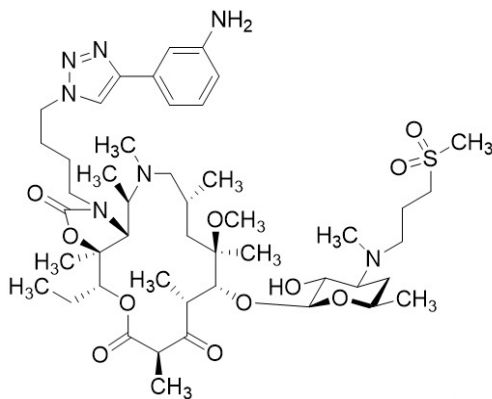
,



FSM-120420

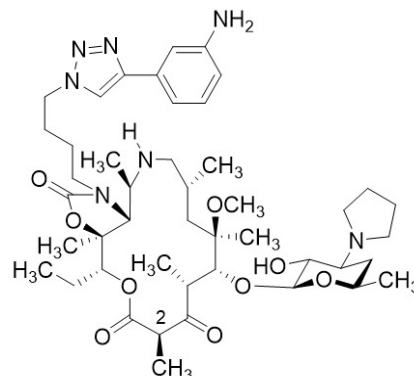
,

## 【化 6 5】



FSM-120421

, または



FSM-120361

で表される、請求項 5 に記載の化合物またはその薬学的に許容し得る塩。

## 【請求項 3 0】

請求項 1 ~ 2 9 のいずれか一項に記載の化合物、またはその薬学的に許容し得る塩、および薬学的に許容し得る賦形剤を含む、医薬組成物。

## 【請求項 3 1】

それを必要とする対象の感染性疾患を処置するための、請求項 1 ~ 2 9 のいずれか一項に記載の化合物、またはその薬学的に許容し得る塩を含む、医薬組成物。

## 【請求項 3 2】

感染性疾患が、細菌感染または寄生虫感染である、請求項 3 1 に記載の医薬組成物。

## 【請求項 3 3】

それを必要とする対象の炎症状態を処置するための、請求項 1 ~ 2 9 のいずれか一項に

記載の化合物、またはその薬学的に許容し得る塩を含む、医薬組成物。